
願いの言葉

純愛

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

願いの言葉

【著者名】

ZZマーク

N7683A

【作者名】

純愛

【あらすじ】

このお話は望んで別れたのに実際に別れてみたら、凄く後悔してしまったというお話なので、そんな経験をしたことのある人に読んでもらいたいです。

ふと耳に入つた噂。

“愛美に彼氏ができた”

あの日、どうして君の手を離してしまったんだひつ..

一度離してしまったら、もう一度繋ぐことはできないと分かつて
いたの。」。

あの日は太陽がギンギンに照りつけていた。

「龍ツ……」

「愛美…『じめん、呼び出しへ』

「うん…話つて?」

「別れて…ほしい」

本当に暑くて、暑くてたまらない日だった。

太陽は俺等とは裏腹に照りつけ続けていた。

あの時、愛美に悪くて顔上げられなかつたけど、知つてたよ。
“うん”って言つたときの愛美的声がすゞく震えていたこと。

今にも泣きだしそうだったこと。

びつして君を傷つけたんだわ…

本当は君が辛いとき、傍にいてあげるのが俺の役目だったのに…

なあ…？神様つて奴が本当にいるなら、頼むよ。

俺のことはズタズタに傷つけて構わないからさあ
あいつを、愛美を世界一幸せにしてほしいんだ…

俺が傷つけちゃった分、新しい彼氏と幸せにしてやつて下せー…。

もう一度と繋ぐことの
できないあの手…
もう一度と隣で見ることの
できないあの笑顔…

“俺が守る”と誓ったのに
君を一番傷つけたのは
俺だった…
君を泣かせてしまったのは
俺だった…

本気で君を愛してた
本気で本気の恋だった
それなのに、それなのに…
もう一度、
あの手を繋ぎたいなんて
もう一度、
近くで笑顔が見たいなんて
そんな図々しいこと
願わないから。

俺のことはどんな風に
傷つけたって構わないから

何をしたっていいか、
だから、

あいつを世界一の幸せ者にしてやれ...

愛する君を

最悪な僕が願う言葉

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7683a/>

願いの言葉

2010年10月11日22時48分発行